

## Profile

氏 名 鈴木 徹 (すずき とおる)

所 属 SMBC日興証券 (株)

生年月日 1980年5月4日 (44歳)

記 録 走り高跳び 2m02 = アジア、日本記録

障 害 下腿切断 (T64クラス)

形 態 179cm / 63kg

出 身 山梨県 (岩手小 - 山梨北中 - 駿台甲府高 - 筑波大 - 筑波大学大学院)

指 導 福間 博樹 コーチ

役 職 日本パラ陸上競技連盟 跳躍パートマネージャー  
山梨県障害者スポーツ協会 理事  
山梨市教育委員 山梨市観光大使



中学、高校時代とハンドボール部に所属し、駿台甲府高校在学中に山梨県代表選手として国体で3位入賞。その後、筑波大学体育専門学群に推薦入学が決まるが、卒業直前に自らが運転していた車で交通事故を起こし、右足膝下11センチを残して切断。大学を1年間休学し、義足のリハビリのため東京身体障害者福祉センターに入所。義肢装具士の臼井氏との出会いやリハビリがきっかけとなり、走り高跳びを始める。陸上競技を開始してから3ヶ月で、シドニーパラリンピックの大会参加基準である1m73cmを越え、日本人初の走り高跳び選手として出場を果たす。シドニー、アテネ、北京、ロンドンパラリンピックに出場し、4大会連続入賞。2005年のパラリンピックW杯、オープンヨーロッパ選手権では銀メダルを獲得。2006年のジャパンパラリンピックでは、2m00をクリアし義足選手としては世界で2人目となる2mジャンパーとなった。2007年のIWAS世界大会では金メダルを獲得し、2015年には9年ぶりに2m01の自己新記録、2016年には2m02のアジア新記録を樹立した。リオ、東京パラリンピック大会にて、6大会連続出場を果たし、2017年、2019年の世界パラ選手権では、銅メダルを獲得した。これまでの体験談を基に講演活動も行っている。